

活動の ご報告



JFAS & 会員の主催・参加するイベントの活動報告

日本ボラアンティア学会

<<一般教育にも市民安全を>>



- これまで JFAS では、災害時のボランティアには安全衛生の意識が必要であるとお伝えしてきました。被災地では PDCA は簡単には回らず、刻々と変化する状況に対応していく必要もあるからです。一方、通常の福祉や環境ボランティア、学校の支援ボランティアなどは準備も予防もできますから十分に安全についても検討されていると思っていましたが、いえいえ結構ケガは多く熱中症でダウンしたりインフルエンザが蔓延したという報告が多いとのこと。
- そこでこの度、日本ボランティア学会に参加し「市民活動時には安全衛生が必要」という発表をさせて戴きました。ことのほか反響が大きく「これまでにない視点だ」というフロアからのご指摘に、それこそが問題では?と思った次第です。
- 今年のテーマは「自生する共同体～あがらいっしょに～」。「あがら」とは紀州特有の方言で「我ら」を意味する言葉です。が、単に我らというより「同志」のような響きに通じるのだそうです。開催地は和歌山県の内陸部、高野山の麓の竜神村。竜神伝説と山肌を昇るホタルの里。でも美人になると評判の温泉にゆっくり浸かる時間も無く帰ってきました。写真は会場である竜神村行政局前。養護学校の児童たちがサプライズな歓迎演奏を披露してくれました。

(4/12 和歌山県田辺市竜神村)

聖マリアンナ大学病院災害訓練

<<主催目的にあった訓練を>>

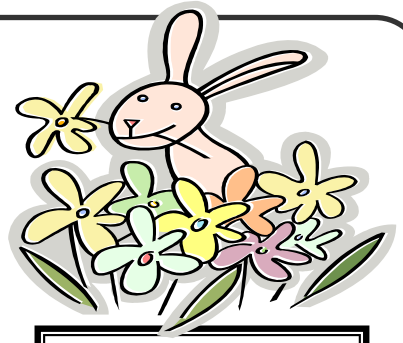


- これまでも様々な災害救護訓練に模擬患者として参加してきました。今回は病院の訓練と言うことで、また違った体験ができました。
- 心に残るのは、やはり声かけです。レベル3桁であっても「脈を診ますよ」「胸の障害物をどけますよ」「私たちは行きますが、救助班が後から来ます」「上をまたぎますよ。ごめんなさい」との声を聞くと安心します。
- 救命救急センター見学ができたこと、また師長さんから飲み物の差入れがあったことは嬉しかったです。病院でこのような取り組みをしているのは素晴らしいことだと感じました。かなり労力を費やして頑張っている姿、意欲が感じられて心強く思いました。
- 個人的に聖マリアンナの近くに住んでいます。聖マリの救命現場の事情を見聞きできたのは近所に住む者にとってありがたい事でした。
- 敢えて苦言を呈するとすれば、受講者の殆どがしっかり観察をしていませんでした。呼吸観察も見て聴いて感じていない!。加えて天の声が優しすぎ、受講者が観察の姿勢を取っていない内にバイタルを伝えている例も見られました。
- 患者役の中にも主催者の目的を外れて「荒れた若者」的な演技ばかりの人もいて、騒々しさは抜群だけど模擬患者の学習も必要だと思いました。(報告:中村氏)

(7/15 神奈川県川崎市)

ファーストエイド活動のご報告

- 昔話になる。数年前、ボランティア活動中、一緒にボランティア活動をしていた女性が床に倒れた。その施設に AED はなかったが、CPR をし続けた。途中何度か患者が荒く呼吸を始め脈も戻った。廻りに安堵の色が浮かぶが、チェックをしていると再び呼吸も脈もとまってしまい、CPR を繰り返した。しばらくして救急隊員が駆けつけ、彼女を病院へ搬送した。
- 病院で治療をうけた彼女は後遺症もなく無事に退院した。本人から「あの施設で倒れたから私は助かった。家でたった一人の時だったら、誰も気付かないうちに死んでいたかもしれない。本当にありがとう」とのメッセージをもらい、彼女の回復を嬉しく思った。
- その後、順調に回復した彼女は再びボランティア活動を始めたが、ある日、施設に現れなかった。知人が自宅を訪ねると既に冷たくなっていた。
- あんなことがあった後も、ひとりで生活をしてきたのだ。ペースメーカーを入れようと医師が言ったが、「障害者になるのは嫌」と拒んだそうである。そしてある日、たった一人で、誰にも気付かれずに亡くなったのだ。
- 高齢者の独り暮らしは更に増えている。元気にボランティアをしている人でさえ、突然の終止符を打つこともある。健康でありたい。



ホットラインへの
電話・メール/相談・報告

6～7月 12件

メールで報告？
jfaspal@aol.com
お待ちしております。

2009着衣泳研究大会

<<未就学児の指導について報告>>



- これまで多くの児童に着衣泳を知ってもらってきましたが、2008年7月初めて未就学児を対象とした着衣泳指導を実施しましたので研究大会で報告しました。
- 未就学児（幼児）は学童（小学生以上）に比べて心身の発達が著しく個人差も大きいため、指導員には子どもの発達心理や保育の基礎などの知識、話術、対応能力も求められます。また、日ごろ児童と接している指導者をパートナーとすることが未就学児対象の講習には重要なファクターと考察されました。プールの水質や水温等の管理をできるスタッフの常駐も必要な視点になります。
- 今後は更に、①全く水慣れしていない児童への指導法、②信頼する指導者がいない場合、③必要な指導者数の確保、④保護者向けの並行プログラムなどを検討したいとし、まとめました。
(報告：安行・青木・細縦各氏)

(6/13 東京都豊島区)

クラシックカーフェスティバル

<<レスキュー・ファーストエイド>>



- 梅雨明け間近の日曜日、日本クラシックカー協会主催の自動車レースに行ってきました。親父が昔乗っていた車をいまだに所持し、しかもレースに出せちゃう人ってすごいと思う。
- 僕はレースに出るわけではないけど、ただ観戦しているよりコースサイドにいたい！と思ってコース委員という自動車レースの公認審判員の資格をとりました。そこで応急手当やレスキューをやっている先輩たちに会ったのです。
- レーシングカーは高速道路より速い速度で走り、しかも急ブレーキで車速を落とすコーナーを回っていきます。ギリギリの勝負をしているのでクラッシュしたり火災になることもあります。そんな時、僕らの出番となります。
- 僕らもレスキューやファーストエイドを学び、いつでも使えるように訓練をします。そして危険な時には飛び出さない、これも鉄則です。熱中症にもならず楽しかったです。

(7/12 茨城県下妻市)